

## "Senobi" breathing exerciseと自律神経・免疫・ホルモンについて

佐藤万成（明倫短期大学客員教授  
さとう内科・青山クリニック院長）

実地臨床では頭痛やめまいなどの訴えを有する患者さんが大変多いのだが、診察や血液尿や画像検査など様々な検査をしても有意所見が得られないことがほとんどでその結果「慢性頭痛」「脳底動脈循環不全」「良性頭位性めまい」など症状に対する病名をつけられるか、あるいは「自律神経失調症」で括られて対症療法で経過を見るしかないというのが現状であると思われる。ところが申請者が肥満症研究のため行った尿中のカテコラミン測定と3分間の自律神経変動検査により偶発的に、不定愁訴群の多くが明らかに上記検査で異常データを呈し、それが呼吸療法と漢方薬を中心とした薬物療法で治癒させうる病態であることを示唆するデータが得られたのである。現在「自律神経失調症の診断と治療」と題して科研費申請を行い、さらにこのテーマについて研究を進めている最中である。